

	<h1>1年G一貫 数学 I</h1>	
--	---------------------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
数学	数学 I	3	1年G一貫	数学 I (数研出版)	サクシード 数学 I + A (数研出版) サクシード 数学 I 完成ノート (数研出版)

学習目標	公式を暗記するだけでなく、『理解する』ということを重視し、数学的な見方や考え方を身につける。
学習の進め方	日々の数学の学習では復習を中心に行ってください。教科書では演習問題の数が少ないので、日々副教材の問題集や参考書の問題を解くなど自分で工夫してなるべく多くの問題を解くようにしてください。
評価対象・方法	定期試験・単元別試験・小テスト・宿題への取り組みを総合的に評価します。
受講に向けての心構えと準備	2学期に入ると2年生からの理数系・文科系コース選択を考えることとなります。このことと、受験科目の選択は皆さんが大学受験をする際に大きく影響してくる非常に重要な事柄です。数学に対する意識（好きか嫌い、苦手意識があるかないか、より難易度の高い問題に臨む気があるかないかなど）も選択するときのポイントの1つです。

	学習事項	学習内容	備考
一学期	第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式	数を実数まで拡張することの意義を理解し、式の見方を豊かにするとともに理解を深める。	スタディサポート第1回のフォローアップ
	中間試験		
	第2章 集合と命題 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	集合に関する基本的な概念を理解できるようにする。命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用する。グラフと2次関数の関係をしっかりと考察し、最大値や最小値を求める。	
	期末試験		
二学期	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次方程式と2次不等式	2次方程式の解の公式を見だし、因数分解も利用しながら解く。2次関数のグラフとの関係を理解し、グラフと関連させて考察できる。判別式の意味を正しく理解する。	スタディサポート第2回のフォローアップ
	中間試験		
	第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	直角三角形における三角比の定義をもとに、三角比の値が、同じ角度に対して相似な図形では常に一定であることを理解する。鈍角の三角比の値について、座標を用いた定義に拡張する考え方を学ぶ。また、三角比の相互関係について学び、それを応用する。正弦定理・余弦定理を利用して三角形の辺の長さを求める。	11月進研模試のフォローアップ
	期末試験		
三学期	第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用(面積～) 第5章 データの分析	正弦定理・余弦定理を利用して三角形の辺の長さ・面積などを求める。また、正四面体などの立体の面積・体積などを求める。資料を整理した度数分布票、ヒストグラムを理解し、情報を視覚的に捉える。資料の値の散らばり具合や、資料同士の相関関係を調べる。	1月進研模試のフォローアップ
	学年末試験		